

チャレンジ加配に係る研修メニュー

令和7年度は、午後から研修を行える体制を整えています。「個別最適な学び」につながる「自由進度学習」と「複線型の授業（授業 DX）」、また、「校務 DX」に必須である「クラスルームの活用」の研修を用意しています。

自由進度学習は、「子どもに学びを委ねること」で成立しますが、「普段の授業」や「学級経営」が大切です。先進校と同じ学習材や学習環境を使ってもなかなかうまくいきません。普段の授業において、選択肢を用意し、自己決定をさせて委ねることがスタートになります。自分が得意なところから始めることで、手ごたえを感じやすくなります。今年度は、「やってみたいと感じている先生（一人でも）」と一緒に授業をつくり上げる伴走型の研修も可能です。

複線型の授業は、「Google クラスルーム」を活用することで効果的に成立します。ですから、校務 DX と重なる部分がたくさんあります。校務 DX と授業 DX は相似形です。校務と授業の両輪で使っていくことで活用の幅が広がり、アイデアも生まれます。教科の学習法というよりも、Google クラスルーム（スプレッドシート、スライド）の活用の仕方の研修となります。もちろん、教科においてどのように活用するかも一緒に考えていきたいです。

校務DX研修の内容は、初歩の初歩である入り口部分です。ですが、ここを「全職員が」使っていないと校務DXは成立しません。初歩の初歩だけでもかなりの時間が効率化されます。また、普段使いすることによって、授業DXにもつながります。

3つの面での研修を考えていますが、どの研修も「自由進度学習」と同じで、方法ではなく考え方です。学校の環境や先生の状況によって、やり方は千差万別です。個別（学校や先生）最適な実践ができるように相談しながら進めていきたいと考えていますので、気軽に連絡してください。

連絡先:0829-39-1776

自由進度学習の研修としては、「A 今までの講演等で行った内容」、「B 学習材や学習環境の体験」と「C 教材研究と単元開発(伴走支援)」の研修が可能です。

A 自由進度学習 ～どうやってやるの?～ 疑問解消編

【内容】

☆自由進度学習について知るとともに、疑問を解消する

- ・教材研究のやり方
- ・自由進度学習の「学習環境を整える」のに必要なこと
- ・自由進度学習の「学習プリントの作成」に必要なこと
- ・その他

※時間によっては、この中の一部になります

B 自由進度学習 ～子どもはこんな気持ち!～ 自由進度学習体験編

【内容】

☆宮園小の6年生の自由進度学習を体験することで自由進度学習のイメージをもつ

- ・1学期の自由進度学習体験・・・社会科「天皇中心の国づくり」算数科「対称な図形」
理科「植物のつくりとはたらき」
- ・2学期の自由進度学習体験①・・・社会科「戦国の世から天下統一へ」
算数科「立体の体積」理科「発電と電気の利用」
- ・2学期の自由進度学習体験②・・・社会科「明治の国づくりを進めた人々」
算数科「拡大と縮小」理科「てこのはたらき」

※3学期は6年生の授業次第になります

※研修を行いたい学校に持ち込んでの体験も場合によっては可能です

※学習環境(発展)は、通年残していますので、見学はいつでも可能です

C 自由進度学習 ～自由進度学習にチャレンジ!～ 教材研究・単元開発編

【内容】

☆協働的に教材研究を深めたり、学習環境・学習材を検討したりすることを通して、一緒に自由進度学習づくりを進める

- ・教材研究を深める（学習指導要領から考える、他社の教科書から考える）
- ・学習プリントを検討する
- ・使える場から学習環境を考える

※集中的に行う、分散して行うなど複数回でも大丈夫です

※複数回行うことでよりブラッシュアップできます

※人数は問いませんので、一人でも大丈夫です

複線型の授業（授業 DX）の研修としては、「D クラスルームを活用するための第一歩」、「E 共有ドライブを使ってさらなる活用」の研修が可能です。

D 授業 DX～はじめの一步～

【内容】

☆文房具のようにタブレットを使う習慣をつけるために、毎日やった方がいいことを体験する

- ① スプレッドシートで健康観察を行う
- ② 連絡帳としてスプレッドシートを使う
- ③ タブレットでの宿題をやってみる（※タッチペン）

E 授業DX～複線型の授業を目指して～

【内容】

☆クラスルームの共有ドライブの使い方を知るとともに、他者参照・白紙参照のやり方を知る

- ① 共有ドライブを使う
- ② 1つのスライドで他者参照をする
- ③ 複数のスライドを使う場合の他者参照をする
- ④ スプレッドシートに考えを書き、それをもとに交流する
- ⑤ スプレッドシートで学んだことをふり返る

校務DXの研修としては、「F 行事予定だけの共有」と「G 行事予定と各種会議記録（暮会）」との研修が可能です。

F 校務DX～はじめの一步～ 超簡単！

【内容】

☆「今日の予定」（行事予定）を共有し、いつでもどこでも見ることができるようにする

- ①学校管理者IDでクラスルームを作る
- ②共有のスプレッドシートを使って、「今日の予定」を作成する
- ③「今日の予定」を共有し、編集できるようにする

【メリット】

- ◎**教頭先生が行事予定を黒板に書かなくてよくなる**
- ◎自分の見たいタイミング、場所で予定の確認ができる
- ◎連絡欄を作ることで、朝会や暮会を待たずに簡単な連絡ができる

【必要なもの】

学校管理者のID（個人のIDでもできますが、転勤を考慮すると管理者IDの方がいい）

今日の予定をうつすためのモニター

モニターとタブレットの接続端子（PC なら HDMI、タブレットなら HDMI⇄USB-C 変換要）

G 校務DX～共有ドライブ編～

【内容】

☆学校の管理者IDで共有ドライブを作成し、「今日の予定」（行事予定）や「校務文書」を共有ドライブで共有する

- ⑥ 学校管理者IDでクラスルームを作る
- ⑦ 学校管理者IDのドライブに共有ドライブを作成する
- ⑧ 共有ドライブの使い方を知る

⑨ 各種会議の共有ファイルを作成する

⑩ 分掌ごとに校務文書を保存し共有するフォルダを作成する

【メリット】

◎教頭先生が行事予定を黒板に書かなくてよくなる

◎自分の見たいタイミング、場所で予定の確認ができる

◎連絡欄を作ることで、朝会や暮会を待たずに簡単な連絡ができる

◎暮会等、全員がそろって行う確認の時間が大幅に短縮される

◎「学校にいなくても」暮会や会議の内容を確認できる

◎「教室で」校務文書を確認し、学級での活動等にいかせる

【必要なもの】

学校管理者のID（個人のIDでもできますが、転勤を考慮すると管理者IDの方がいい）

今日の予定をうつすためのモニター

モニターとタブレットをつなぐもの（PC なら HDMI、タブレットなら HDMI⇄USBc変換要）